

予算特別委員会一日延長の申し入れに関する緊急声明

東京都議会自由民主党は昨日、鈴木隆道・予算特別委員長に予算審議時間の不足という理由を付して、審議日程の一日延長を申し入れました。これは 3 日間にわたる予算委員会審議を通じて、特に市場問題に対する知事の不十分な答弁により実質的な議論が深まらず、こうした事態に大きな危惧を感じ、予算特別委員長への申し入れ及び各会派の理解と協力をお願いしました。

予算特別委員会の理事会を開催すべく、交渉役が断続的に協議を行なっていました。協議が整わないまま、自民党以外の理事会メンバー（公明・共産・改革・都民ファースト・ネット）が、委員長や議会局担当職員に連絡もせず、都議会を退出してしまう事態が occurred。

職場放棄ともいえるこのような事態は、都議会の歴史の中でもいまだかつてない無責任極まりない行為と言えます。

私たち東京都議会自由民主党は、この間特に都民の関心の高い豊洲・築地の市場問題に関して、都民に出来るだけ正確かつ詳細な情報を提供するために、予算特別委員会の審議時間を一日追加して欲しいと申し入れたに過ぎず、ましてや昨日小池知事が「市場のあり方戦略本部」なる新しい庁内組織を突然立ち上げることを発表したのですから、この問題に対応するためにも追加の審議時間を、党派に関係なく議会人として要求するのは当然のことと考えます。

平成 29 年 3 月 25 日

東京都議会自由民主党

幹事長 高木 けい